



ふくしまっ子

チャレンジサマースクール 2016 in 石川

報告書

平成28年 8月10日(水)~16日(火) 6泊7日

主 催 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

協 力 特定非営利活動法人 poco連人(福島県)

後 援 金沢市教育委員会

宿泊場所 石川県立能登少年自然の家

金沢市キゴ山ふれあいの里研修館



『ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2016 in 石川』を終えて

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

代表 岩井繁樹

東日本大震災・福島第1原発事故から丸5年経ちました。今年で5回目を迎えたふくしまっ子チャレンジサマースクールには福島県と栃木県から32名の子ども達と保護者7名が集い、能登と金沢で自然を満喫し、大いに遊んで・笑って・語って・食べて・歌って・踊っての6泊7日を過ごしました。

今年は郡山市までのお迎えと、お見送りを私と代表幹事とで行ないました。主催する我々が福島に向いて参加者をお迎えし、福島まで送り届けてお見送りすることが保護者さんにとっての安心感と信頼感につながり、我々にとっては責任の自覚につながる大切なことだと改めて実感しました。

準備期間にやったこと、心がけたこと

昨年の11月に行なわれた福島での報告会では、それまで放射能の影響を考えて、あえて連れて行かなかったヤングリーダーを連れて行きました。

今年1月には広島から毎年参加しているヤングリーダーの清水十輝君の要請で、広島で初の報告会を開催し、今年の夏の保養キャンプ実施団体が発足しました。3月は金沢に避難・移住されている福島の方々が中心となった感謝のイベント「ありがとう石川3.11」に参画し、感謝状をいただきました。5月のゴールデンウィークには恒例となったスタッフ合宿に福島から5家族が保養に参加してくださいました。6月は世界的な和太鼓グループ『鬼太鼓座』さんとの十輝チャリティーライブや街頭募金を実施し、外部講習会に参加などしました。7月は安全講習会、キャンプイベントの下見や準備作業、ミーティングなどなど、本番実施までの間に週に1回は澤本家かクノキ家に集まってワイワイガヤガヤしていました。

昨年に引き続き「なんのために保養キャンプをするのか?」を常に意識し、学習しながら「プログラムを自ら考え準備・実行する!」を掲げてヤングリーダーが率先して活動を展開してくれたお陰で、本番では多彩で充実したプログラム内容となり、スムーズな運営ができました。もちろん子ども達には大うけでした。



ふくしまっ子キャンプに一番大切なこと

反省会で上がったのは

- 生活目標「あ・せ・か・く・こ」を身に付けてもらうこと
- アットホーム感
- 歌やダンスや音楽があふれていること
- 愛情こもったおいしい食事
- 保養の必要性をこの事業に関わった人全員に感じてもらうこと
- ヤングリーダーと子どものふれあい

などでした。どれも大切なことです、私は第1回目から一貫して「福島の子ども達を暖かくつつむ雰囲気」がふくしまっ子チャレンジスクールには何よりも大切だと言ってきました。

一見、彼らは私たちの周りにいる普通の子ども達と何ら変わりはありませんが、原発事故後彼らは親から、学校から、社会から、さまざまな行動の制限を受けてきました。現在ではほとんどの子どもたちは平気で普通の暮らしをしていますが、今でも山や海では遊べない、森や林に入らない、食べ物にも気をつける、など、日には見えない、匂いもない放射能という魔物に自由を奪われてきました。それは今でも続いています。

政府や福島県は除染が進み、空間放射線量も低くなったから安全だと声高に宣言していますが、果たして本当にそうなのでしょうか。30年経ったチェルノブイリ事故では3世にまで健康被害が広がっています。

現に福島県では甲状腺のがんもしくはがんの疑いの高い子どもが171名にも達しています。そのうち136名が手術をしてその結果、良性結節だったのはたった1人だったということです。(2016年6月30日福島県民調査報告書より)

そんなストレスを抱える子ども達をわずか1週間の保養キャンプで心身ともに正常に戻すことは困難です。だからせめて石川にいる1週間は思いっきり普通に、自然に、自由に、おおらかに過ごしてもらいたい。それには参加するヤングリーダー、大人スタッフ、キッチンスタッフ、ご支援していただく全員お一人お一人が福島のことを我がことと思い、ふくしまっ子をわが子と思う優しく暖かいこころを持っていていただくことが何よりも大事です。そしてその暖かい雰囲気が自然に出来ているのが我がふくしまっ子チャレンジスクールです。

胸を張ってそれを自慢できる自分が誇らしく思います。しかし、この事業の道のりはまだまだ先が長いのです。放射能物質の一つであるセシウム137の半減期は30年です。いつ何時私やスタッフのこころが、からだが折れてしまうかもしれません。

その時は遠慮なく叱咤激励をお願いします。

どうかこの報告書を手に取っていただいた方々、6泊7日の楽しいキャンプの様子をごらん頂いた後に、ふくしまっ子の健康と幸せをこころからお祈りください。お願いします。

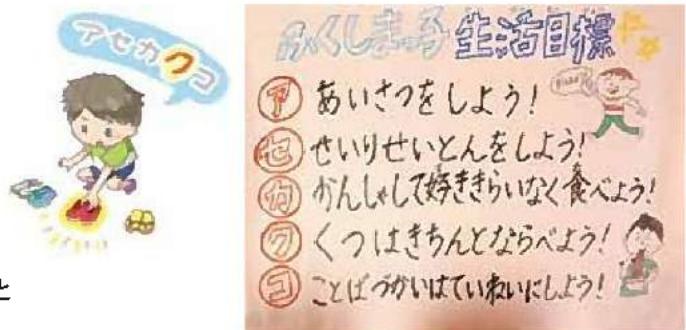
最後になりましたが、「ふくしまっ子チャレンジサマースクール2016 in 石川」に対しまして多くの方々から、こころ暖まるご支援ご協力をたまわりましたことを改めて深く、深く感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

保養キャンプとは

原発事故により放射能の影響と不安がある地域に暮らす人々が(特に放射能の影響を受けやすい子ども達)が休日などをを利用して、他地域に滞在し、放射能の影響や不安から一時的に離れることで、体調を整え、心身の疲れを癒すことを目的として企画運営されるものです。

チェルノブイリ原発後ウクライナやベラルーシなどでは国家が主導して、学校の授業の一環として保養キャンプが実施され、期間は1か月を越えるのが普通です。30年経った現在も実施されその効果も実証されています。

わが国では現在でも全国で300以上の団体が毎年夏・冬・春休みなどを利用して保養事業を実施しています。運営はボランティアが主で、資金面は寄付金・補助金で成り立っているのが現状です。



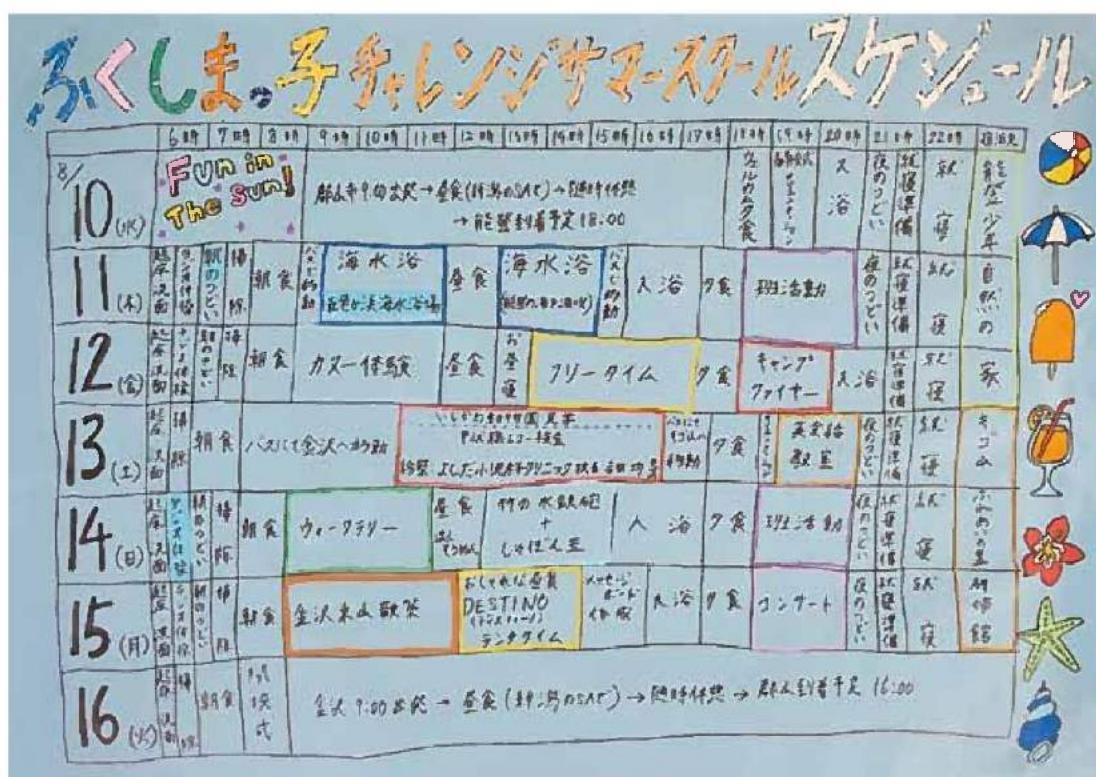
事業報告書

1. 事業名 ふくしまっ子チャレンジサマースクール2016 in石川
2. 実施主体 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
3. 後援 金沢市教育委員会
4. 実施期間 平成28年8月10日㈬～平成28年8月16日㈫ 6泊7日
5. 宿泊場所 石川県立能登少年自然の家 石川県鳳珠郡能登町字九里川尻16字20番地 (10日～13日)
金沢市キゴ山ふれあいの里研修館 石川県金沢市小豆沢町34番地 (13日～16日)
6. 実施場所 石川県立能登少年自然の家 (カヌー・キャンプファイヤー)
五色ヶ浜海水浴場 (海水浴・地引網)
いしかわ動物園 (見学)
金沢市キゴ山ふれあいの里研修館 (水鉄砲・コンサート)
ディスティーノ (おしゃれな昼食)
金沢市東山界隈 (金沢観光)
7. 参加者 福島県+栃木県の小学1年生～中学3年生／31名+幼児1名
石川県の小学生1名・中学生1名

参加者市町村	人数
福島市	8名
郡山市	8名
いわき市	7名
西白河郡	3名
本宮市	2名
栃木県矢板市	2名
須賀川市	1名
白河市	1名
合 計	32名

8. 事業内容

《主なスケジュール》



8/10
(水)

1日目



いよいよキャンプ1日目！スタッフ達は子どもたちと再会できる喜びと、みんなを楽しませるぞ！という気合いを胸に、バスから降りてくる子どもたち一人一人と挨拶をして歓迎しました。開会式の後はリーダー達の自己紹介。すんだ（斎藤佑輝）から「せ～の！パンパン！パパパン！パンパン！ワッショイ！イェ～イ」という魔法の合言葉を教えてもらいました。アイスブレイクでは、お互いの名前を覚えるためのゲームを子ども、リーダー、大人スタッフ全員で頑張りました。夜はキャンプ中の「わかったこと、気づいたこと」などをYWKTというふりかえりノートに貞剣に書きました。バスでの長旅の疲れを感じさせない笑顔と、とっても楽しそうにしている姿を見て、このキャンプは絶対素晴らしいキャンプになると確信した1日でした！

かいと（赤沼開斗）

8/11
(木)
2日目



2日目は待ちに待った「海水浴」！水着に着替えて、いざ出発！毎年恒例のみんなで海に向かって走る姿は「夏が始まったー！」って感じがして本当に人好きです。海では子ども2人とリーダー1人でバディを組み、鬼ごっこやバレー、水のかけ合いかっこなどを安全に楽しく遊びました。リーダーに海に投げられる子や、「投げて投げて！」と自ら頼む子も(笑)砂浜では「ビーチフラッグ」と「地引き網」をしました。ビーチフラッグは、男子も女子も負劍勝負で、時には女子が勝つこともあります！地引き網は、海の生き物と触れ合えて良い経験になりました。海の後はやっぱりスイカ割り！じゃんけんで勝った子が挑戦しますが、残念ながら誰も割ることが出来ず…(笑)夜は、ここでしか体験できないジョンさんの『災会話教室』と、子ども達それぞれの「夢」を書いてもらいました。現実味のある夢ばかりで本当に実現しそう！早く将来のみんなに会いたくなりました(^^)海での疲れがあったのか、夜は静かにぐっすり。zzz(この日は特に寝言がひどかったです)今宵も最高の夏が始まりました♪

ゆうり(泉 佑里)





8/12
(金)
3日目



3日のイベントは「カヌー」と「キャンプファイヤー」でした。カヌーでは前日それぞれ班ごとに決めたかけ声をもとにみんなで力を合わせてカヌーを漕ぎました!カヌーの後は強制お昼寝タイムでみんな爆睡!!!キャンプファイヤーのために体力を温存させました。キャンプファイヤーは、地元の伝統芸能である囂太鼓で始まりました。この演舞は滅多に見ることができないので、とてもいい体験になりました。その後はひなちゃん、リボンちゃん、すんだによる「希望の火」を歌い、「みんなの広場」「アレレ」をして楽しみました。昨日よりキャンプファイヤーの時間が短くなりましたが、とても内容が凝縮されたキャンプファイヤーになりました。終ったあとは次の日の金沢に移動するために準備をし、お風呂に入って早めに就寝。とても充実した1日でした。

まいちゃん(道花真衣)





8/13
(土)
4日目



4日目は「いしかわ動物園」と「よしだ小児科クリニック」に行きました。朝食後、お世話になった能登少年自然の家の方々にお礼を言い、バスに乗って出発! A班とB班で動物園と甲状腺検査にそれぞれ行きました。最初に動物園に到着したB班は動物を見たり触ったりで大はしゃぎ!その後、A班が動物園にいざ出陣! B班同様に大はしゃぎで、どちらの班もすごく楽しんだようでした!バスを待ってる時ははしゃぎ疲れたのか少し疲れの様子…笑。甲状腺検査も無事終えることができました。キゴ山に到着して挨拶を終えた後、「レクリエーション」をしました。夕食後のジョンさんの「英会話教室」では、フルーツバスケットの応用版を楽しみました!その後子どもたちは就寝。眠っている幸せそうな寝顔を見て、みんなにとって心に残る素晴らしい1日になったと感じました。

マリモ(澤本剛希)

8/14
(日)
5日目



キャンプも後半に入り、班の仲が一層深まってきました。アクティブラジナ1日でしたが、キゴ山に来ても子どもたちは元気いっぱい!!朝のイベントは新企画「ウォークラリー」だ!ルビーとプリンセスバギーに宝の地図を渡され、班ごとに出発!ミッション(松ぼっくり玉入れ、写真撮影ゲーム、PK対決、糞っぱカルタ取り)をクリアしていき見事宝箱をゲット!山には水鉄砲がー!みんな大喜びでした(^_^)昼食は、流しそうめん。で、キッチンスタッフの工夫もあり、楽しく美味しいいただきました。午後は「水鉄砲」!自分も大好きなイベントで、子どもも大人も関係なく、みんなでかけあって水鉄砲合戦!!今年はシャボン玉もあり、小さいものから大きいものまであつたので、特に女の子たちに大人気でした!夜は次の日の東山散策をする計画を班ごとに考えました。

ワサビ(浮木享宏)



8/15
(月)
6日目



大きなイベントも今日で終わり、お別れの日が迫ってきました。この日も盛りだくさんな1日で、朝は昨晩考えた計画をもとに、グループで『金沢東山散策』しました!当日はあいにくの大雨でしたが、時間が経つごとに雨は弱くなりました。きっとみんなの日頃の行いが良かったのでしょう!昼は、『ディスティーノ』での素敵なおもてなし。みんなの大好きなご馳走ばかりで会場内は笑顔で溢れ、マナーを守った楽しいランチタイムとなりました。夜はラストのイベント『コンサート』十輝君やメグちゃんの歌声、クノキバンドやふくしまっ子メンバーによるピアノ演奏を聴いて涙がほろり。最後は恒例の「夢が夢があるから~ト」みんなの思いがどんどん移り、号泣している子やスタッフたち。みんななど過ごした日々を一つ一つ思い出し、あと1日でお別れだという実感が湧いたと同時に、この歌はみんなを一つにしてくれました。

まりこ(石黒茉莉子)



8/16
(火)

最終日



気づけば、もう最終日。朝起きて子どもたちの「おはよう」の声が聞こえるふくしまっ子のいつも通りの朝でした。だから今日で子どもたちとお別れ、そしてキャンプが終わるということに全く実感がありませんでした。朝ごはんを食べてから大人スタッフのあいさつを聞き、少し寂しい気持ちになりました。閉校式がはじまり、このキャンプでみんなに思ったことを伝えました。一週間子どもたちといいたことは本当にあっという間で、笑顔があふれるキャンプでした。最後はみんなで、ふくしまっ子恒例の「夢があるから～♪」を歌い、笑顔と涙のお別れをしました。また来年も笑顔で会える、そんな気がしました。

すんだ（斎藤佑希）





こども感想

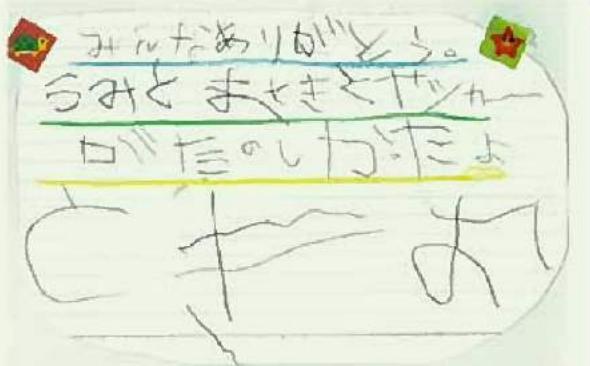
今年のふくしま、子はとても楽しかった。

来年は去年やった、「キャラブレイブキャラブ」をやったい。

・大人トドッパーの新年さん

ありがとうございました。

夏の楽しい思い出をありがとうございました。



一週間ありがとうございました。
海水浴でじびきあみがおもしろかったです。来年もまた行きたいです。

海に入って、よく見て見たら、魚があよいていました。

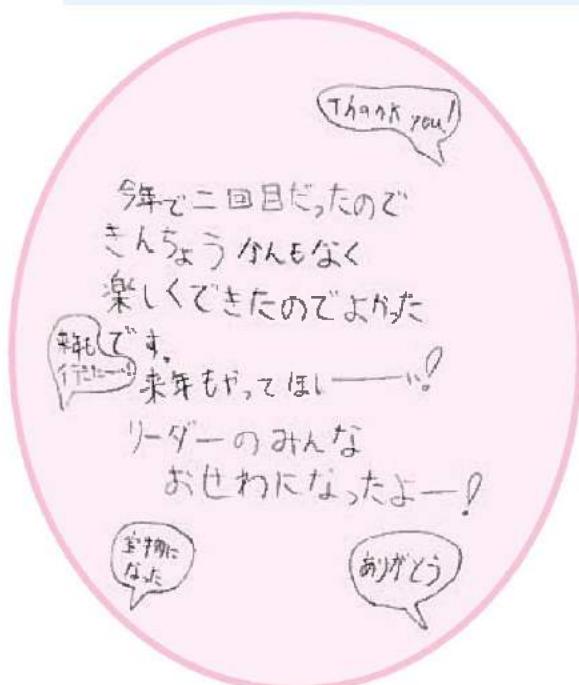
魚をおいかげたら、すごいスピードで逃げていました。

じびきあみをさいたら、オスエビ、クラゲといひ、わかめとかいました。

ウォーターリングをしました。最初に、スタートゴールをいれながらやった。

ぼくは、ゴールに入れました。うれしかったです。

また行きたいです。



ふくしま、子
チャレンジサマー
スクールの
スタッフのみなさん

夏のたまごの時だ。ちのうなどちを奪い
キャラブ：島田、佐川、木暮は負けたです
このキャラブ目標「ア、セ、カ、リ、コ」と
1日1個ずつ逃げていながら、みんなの意地が
窺はれます！
楽しい事も悲しい事もたくさんありました。
本当に参加できて良かったと思います。
最後の日には、一生懸命にキャラブを走りました。
レースが遅い事もいたでした。
今年のセカンド年が、今まで経験した中で最も楽しかったです。
本当に。
ありがとうございました





ほほほ、バスを下りてすぐここ、みんなかわ
おかえりなって言ってくれてすぐうれしか
たです。それから今年もかわらの1人になれて
すぐうごくうれしかったです。
つぎはゆうじもおねいさんにならう
ですか？大好き。
さあ次、ぜひ行こう！
遠れてくれてありがとうございます。
大好きだよ。
来年もせったいに行きます。

遠藤 琉奈

かくしまチャレンジスクールの2日目が終へ
わたしたちもかくしまチャレンジスクールで石川へ行
たくさんの事を教えてもらいました。いろいろな事に協力して
もらいました。
空の流しあみんで2回、1回で流して2回人の形を作り
ました。とても楽しかったしおいしかったです。
ウエーブラリーで4つの空とかけさせ作ってもらいました。
楽しくなることが出来ました。
そしてまたまたおかえりでまた会えてくれて
うれしくてうれしくて走ってくれる3年生が好きです。
どうか声をかけてくれて本当にありがとうございました。
わたしも、リーダーになっていろんな人にやさしく
したいです。また来年も参加したいと思いまます。
ありがとうございました。

リーダーのみなさんスタッフや支えて
くれたみなさんありがとうございました。
ほくがー一番楽しかったのはウォーカリーです。
アイデアがとてもおもしろかったです。
他のキャラクターも楽しめたです。
来年もせったいに行きたいです。



スタッフのみなさん一週間ありがとうございました。
みなさんが、私たちのためにたくさん楽しい
きかくを考えてくれたおかげで「夏休み一番
の思い出」ができました。とくにおもしろ
しかった事は海水浴と、キャンプファイアです。
また来年もこの2つを入れてください!!??!!

みなさん一週間本当にありがとうございました。
また来年も参りたいです。



かくしまチャレンジスクールは今年もめちゃくちゃ
楽しかったです！
アセカココは福島に出身。でもじこうしあいます。
こんなに楽しいキャンプは初めてです。
参加できること本当によかったです。
ご飯もとこもおいしかったし、食べたことのない
野菜をいろいろな野菜を食べるき、かけになりました。
ありがとうございました。
やさしくて安心しました。
来年も参加したいです。

かんしゃしあいます。

ありがとうございました！





今年で5年目になります。

今回泳がせてやる行動の中ではオーケラリが楽しめました。
山の中を歩き道に迷ったりして楽しめました。

来年は中1なので、いそがしくなるかもしれません。など力
がんばって来年のキャンプも行ってみせます。

キャンプのリーダーの皆様ありがとうございました！



班で協めてカヌー体験ができたので、良かった
し楽しかったです。今度は、キャンプ、かー作りを
したいです。リーダーと、いっしょにたくさん楽しく
遊べてとてもうれしかったです。覚えてくれた
時は、おかげでといってくれてとてもうれしかったです。
帰る時も、いいからいいといってくれたので、来年も
ぜったいにいきます。ご飯も毎日、とてもおいしく
て、キャンプスタッフのおかげで食にも感じなくなっちゃう。
と意識できました。福島県では海に入らないので、
入れてとてもうれしかったです。
来年もまた会いましょう♪
(ピア、も、とも、と練習がんばります)

一週間お世話をになりました
ありがとうございます。
水遊びなど楽しかったです
先生大好き！
来年はキャンプインセプトを
やりたい！！
にだらべトの上でのみたい！！
来年行きたいです。

よろしく
おねがい
します。
蓮

全部楽しかったですが、特に水では、
ほらが
楽しかったです。
来年は、もう少し泊まる期間が長がたらいいです。
キャンプのキャンプで、来年に、やりたいです。
ひとつも楽しかったです。来年も、よろしく
お願いします。





コンサートすごく感動した!
スタッフからの一言ごとがたとこを書い
ちらったのぞうれめつたごち
またいきたいです。

今年初めて参加させてもらいました。
去年は参加できませんでしたが今年
は参加できました。今年
はくしま子チャレンジサマースクールで夏の
一番の思い出ができました。またこのキャンプに参加
して今回もキャンプよりもっと楽しい思い出を作ることを
目標にしたいです。もちろんアセカクトコモ!!



今年で3回目、スケジュールもみんな変わらず6泊7日の
キャンプ。久しぶりに会う人、初めて会う人、キャットが始まりた
中学生に来年はでも来たい。ジョセフ、サイモン、ピニセント
と会いたい



スタッフやリーダーたくさん優しくしてくれてありがとうございます!
私はウーラリーのまつぼく(?)入れの時に
100に入りました。それしかったです。
それが今もトキがコンサートで歌ってく
れて、すごくうれしくてすごく楽しかった。い
む郡山でライブをやってください。
せったいに会いに行きますね!

ジョセフ!!
いっぱい遊んでくれてありがとうございます。
来年もたくさん遊びぼうね。

リーダーやスタッフいろいろとおせわ
になりました。
来年もせうたいに行きたいです。



保護者 感想

◆ 3回目のチャレンジスクール参加お世話になりました。その他の通り、今も不安の残る福島を離れ、今回も沢山の事に挑戦し、学ぶ機会を設けていただき、関わって下さった皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。
 それにも拘らず、不安を抱きつつもそれでもここに住み続けている私達親子が唯一、良かったなあ、ラッキーと思える事が岩井さんはじめ、支えて、続けて下さっているこの事業との出会いです。チャレンジスクールに今年も行けると決まると、それまでに宿題を終わらせ、本当に待ちに待ったという感じで迷いもなく出発しました。テンションがとても低いように見えますが、人前に出たり表現する事が苦手だったり、伝える仕方が分からないだけではなく、何よりも、石川さんの様子は、隨時知る事ができましたので安心して日程の間、待つ事ができました。普段と違うお次達や沢山の大人の方と過ごした中で「全てが楽しくもっと長くいたかった、来年も行きたい!」という思いになれる事、普段見られない笑顔でこんなにキラキラ輝いた夏休みはチャレンジスクールのおかげです。
 5年が経過したのです。子ども達の保護、支援や協力が薄れていくのも(残念ですが)当然だと思います。そんな厳しい現状の中、今年もこのチャレンジを実現していくだけ、参加させてもらえた事、生涯忘れられない思い出となり、その全てが宝物です。ありがとうございました。



この度は大変お世話になりました。
 本人も、とても満足の良い体験をする事が出来ました。
 初めて、食事と別々の時間で過ごし、改めて
 荷物を感じ、又、強くたくましく、人間らしく、など
 増々、精神と脚を鍛えました。笑
 中で、行事に参加出来ませんでしたが、皆様の力を借りて
 多様の成長を感じて行けたら嬉しく思います。
 この様な機会を頂か、大変感謝致しております。
 今回、一週間の滞在に不安を感し、参加を断念した
 娘ですが、帰ってきて息子の様子を見て、
 来年は「参加したい」と言っていました。
 主催されておりました、何より御苦労、御苦勞が水谷
 事務局にてありますので、私も子供もこの様な
 修業をさせて顶ける事を、光榮に思います。
 どうぞ、これからも宜しくお願い致します。
 ありがとうございました。





スタッフの皆様、リーダーの皆様 今年もよほど運
本当にありがとうございました。昨年は初のこの
参加で沢山ご迷惑をおかけしまいましたが
帰ってきてからのよほど運の変化や成長に
感動し、今年もよほどになりました。
よほど運は昨年から今年のスケールをずっと乗じて
していました。二人共、将来は西川に住むことを
決めている様です。(笑)
毎日何度も更新されるFBが奇跡かたどす
よほど運の実績を窺うける度に感動の気持ちで
いっぱいになります。何度も涙が出ていた
ご飯はどれも全部美味しかったと言っていた。
ありがとうございました。
よほど運からは樂しかった話ばかりで残念な話は
いつもできませんでした。帰ってきて来た日は皆(白川
会)になくなってしまった二人共思ひ出していたは何度も何度も
泣いていて、宿題の作文も思ひ出していたは泣きの
くり返して何日も書けませんでした。このチャレンジ
スケールに参加する度よほど運に宝物が増えている
のを感じます。今年も受け入れてください本当に
ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

毎年多くの手をかけておこなうモード開催でアラビア
開催していくべき。本当にアラビアがどうですか。はす。
今年で4回目のアラビアセミナー開催。皆さんが会えて、
週二八日間向かっても樂い最高のアラビアでした。
毎年、見るごとに大きくなって、アラビアの3D映像がますますが良くなりました。
そして奥からアラビア映像としてさらも鮮やかになってくれる。これはまた大きな
ニーズがあるのです。

失敗少しがちでござりましたが、あくまでも皆様がお見えにならぬ事
是子供の事ですが、帰られたら、跡へと翠いがた山口翠年のかく(ヨコヅル)
おと何日? 口直おの子にまた会えます? もとより、即日おで石川に
おはせます。翠年へはお出で来て下さいました。それから
被射性植物から退避を果して荷物もつれてお出でなさ
でなく、子供の心に、とても血が通りますよは温かで柔軟でな
いうおで、本当にこれから感謝申し上げます。
ありがとうございます。
どうかまた翠年の御健やかとお歳、いいます。

通常、甲は親類としていたたた、西田先生、西川先生、三木先生、
山本先生、吉田先生、東京の先生など、お世話をうけました。
見つけられたとき、この車にハンドルを握り、運転する。危
二度は船島、それが車のハンドルを握り下さり、昌代はおまかうござるに、
一番うれしい。放駆能のうけられたりひでのうけられたり、うれ
きたが、子供達が自室で歌の取り引き、自分でごとふらん?
人間がうけた子のうので、トマトができおかども不寧だよ。
しかし、ヤンツリ、丁の音様のやうい声がうや、接く方でわ
引火道の火でし、机の火燐達をそこへ入れ、あ、いの間に
すくへて、母を見て驚き同時に、参詮は良かだと思
までた。
親でさえ、何かもの時間通り、子供達を準備するところが
真新しい。時間通りにスティーブルを並べて、カギアード、
すんだら、さあ、でも、そこを驚いておいた。まだ、足元はほん
とに下へた、小窓、椅子、机、机の上、完全な状態で、床面に水栓
を組んで、浴室へ下へる口、ここでは、もう見ない、思ひだす。
子供一人ひとり、歌と音楽と音楽と、何事か心の問題はな
く、人間一人、自分の得失が浮かびあつた、済みでそれも、浮
き上り、浮き上るが高めになると、本当に、登ったとき、がほんと
重いらしいスタッフ、皆碌だと思へば、子供、子供、二歳で
ともかくして、子供達、おかれでする姿を目に見えれ
真になりました。
子供がやうすく、時に無むれい、たゞの、方や、
無むれい、見えて、見えても、たゞの、本当に心地よく、
12時、福島、子供達、職工の入る吹流を量重ねた。
3、4月は東日本大震災で原発事故で、新潟の音様と、
本舗にて、川底の土砂を運び、五ヶ日がたのうちに、

今年で二回目の参加となりました。参加の理由は、子どもが「石川のみんなに会いたい、リーダーたちに会いたい」と喜んで焼けたことです。

今年は、キッチンスタッフやバスの引車のお手伝いをさせて頂きました。

出発のバスの中では、久しぶりに会った顔ぶれにテンション高く喜んでいる子どもたち、少し緊張気味の子、長距離にバスの中で飽きてしまう子、時には大人の注意に聞かない子、様々でした。キッチンスタッフとしてお手伝いをし、たいへんでも感じ改めてキッチンスタッフ、お手伝いをしてくれた方に感謝です。このようにスタッフの一部に関わられたことで、スタッフリーダーの苦労や、たいへんおわがわがりました。

多くの方々のお力があり、子どもたちが安全に楽しく活動できるのだと思います。

我が家は、石川では、のびのびと遊び、食事も家の倍食べていました。

自然の中で、いつもニコニコしていたのが忘れられません。毎日がとても楽しかったようです。

原発情報、放射能を気にせずに、笑顔で楽しんでいる子どもを見ていると、何倍か涙がでながらなりました。親子で、今の福島を忘れて7日間でした。

帰宅後、父親に「石川は、統一感があった」と聞かれ、目に涙をためて「是、石川に行きたかった」と語っていました。この言葉に、どれだけの思いと、人のつながりを感じたのかわかります。感謝の気持ちでいっぱいです。スタッフの皆さん、リーダーの皆さんお迷惑になりました。ありがとうございました。

今年も母子で大変お世話になりました。原発事故後、外遊びを制限してきた子供達にとって、何も気にする事なくのびのびと自然体験ができるたこと、いくしまっ子での思い出はかけがえのない体験としてずっと心に残るものになるはずです。

甲状腺検査では、不安に思っていた事も吉田先生に聞く事ができ、親身になって下さる事がとても心強かったです。また、歯科医の先生からも貴重なお話を聞く事ができました。

子供達は家へ帰るとすぐにアンケートを書きはじめていました。とても樂しかったようで、「また来年も行きたい!」「早く来年にならないかな。」と、もう来年の話をしていました。

いくしまっ子チャレンジスクールへ関わってくれた皆々様…本当にありがとうございました!!

人見知りで人前で話すのが苦手な息子たち。

Facebookに載っている写真ほど水も笑っていて、緊張している顔ばかりで少し心配していました。しかし、徐々に笑える写真を多く撮ることができ、動画で楽しそうな顔を見て、本当にチャレンジスクールには行ってほしかったと思ひます。

帰ってきてからも、楽しかった出来事を振り返ります。喋っていました。次回は日曜も連れてこようです。

是間大変お世話になりました。ありがとうございました。



大変 お世話になりました。

参加募集があっさりは 一時 すみっこに追いやられていた 十輝くんのことを
出し(えだし)、特に車の中では ずっと 「今、みなたは 車でみか?~」
と 脱い? 脱りあがって いました。(出発する当日も!)

この子たちのために どれだけの人が、どれだけの時間をかけ?
いたないでいるのにどう? と考えただけで 感謝で 泣がしいばいに
なります。

算々、涙腺が弱くなり、ちょとしたことでも 泣が出てしまい。
うれしい、嬉しいのに 泣が出てしまいます。今回も FBを見?
何度 泣かされたかでしよう。

天氣にも恵まれ(金沢散策の時は 残念でしたが) 今年も 可はらしい
1週間のようでした。

スタッフのみひさん、リーダーさん 支援していただいた方々、
本当にありがとうございました。

P.S : 「ひきだいじの スタッフになりました~いし」と 言っていました。
石川に 就職させるも いいと想っていきました(笑) よろしくお願ひします。
「泣くもん」辛しかたいからたまに泣く、たまに 泣いてから…

(前略) 福島県内でも放射能に対する感覚が人それぞれで、目に見えないのであるために食べ物・環境にすいぶん注意がはらわれなくなってしまっていますが、森林や水の汚染は除染しきれないものとして、当方はアウトドア体験は県内でさせたくないと考えています。街中は優先的に除染をすすめたため、街中のウォークラリーは商店街が企画してくれて参加したことがあったのですが、自然の中のウォークラリーや体験ははじめてだったこと、またスタッフの方々が面白く演出・準備して下さったとの事で、拓真は夏休みの作文にウォークラリーの体験をとても詳しく書いていました。心に強く残ったようです。また、準備して下さったスタッフの方々にとても感謝していました。親も子どもも安心して自然の中で遊ばせていただける企画を続けていただき、本当に感謝しております。自然界の放射能の心配がなくなるには30~50年かかると当初は大騒ぎでしたが、最近は「もういいだろう」という風潮になっている気がします。このような中、サマースクールの継続には何かと大変かと思いますが、継続のために何かお手伝いできることがありましたら、お声かけ下さい。



スタッフ感想

今年で2年目の参加となりました。去年は少しかれり、悔しい思いいたしました。今年こそ！という気持ちでMTや企画準備に参加させて頂きました。全行程出れるなど決まりました時は本当に嬉しく、はやくみんなに会いたくて仕事もせんなりました。キャンプはあ、という間でしたが、とても濃い7日間でした。どの企画も、合間に歌もみんなの笑い声がとびかってとっても楽せな7日間でした。最後のスタッフミーティング最後の朝食、PPT校式、涙をこらえるのが死んでしまった…あります。でも、また来年みんなに会うために明日から元気長ろう、と頑張ります。ふくしまっ子は私にとって夏のどのイベントにも負けない大切な大切なものイベントなのでこれからも頑張りたいと思います。来年、またみんなにおさくすように大切さはみんなに会えるの楽しみに石川で行きましょう。ありがとうございました。

金城大学2年 米田 千奈都

毎年感じる、短い一週間。
“楽しい時間”というのは
本当に“一瞬”で…
みんなに会えるのは年に
一度しかないから私は
福島県と石川県を繋ぐ
「ふくしまっ子」を
天の川だと思っています。
ちょっと下手なクサイことを
言いましたが…(笑)
とにかく私は
「ふくしまっ子」が好きです！
みんなが好きです！
また来年みんなに会いに行きます！
待ってます。

泉 ゆうり

今年初めて自分の班のチーフリーダーとして参加しました！
初めはちゃんと出来るのかどうでも不安でしたけど、おわいの
リーダーたちがいい声かけたり、応援してくれて、おかげで
とってもスムーズと楽しいプログラムを出されました！で、いよいよ
子供たち遊んだり、歌を歌ったり、一緒に泣いたり、いつも
でもいろいろいっぱい素敵な思い出を作りました！そして前の年から
来てる子供たちが少し成長してるの見ることがあって嬉しいた
です！今までをここまで責任持つてこれに入ってきたこと、今から本当
ヒーラーとしてちゃんと責任を持つことよく学びました！来年に向
けてリーダーとしていっぱい成長できるように頑張りたいです！本当に
今年参加されて、心から感謝しています！

Thank You Very Much!!

Yael Baran Kavie (ネセナルキ)

今年でチャレンジスクールが始めて5年。よく5年目というと、色々な節目の年に捉えられ、支援や事業が打ち切られるという話を耳にします。しかし!! 今年のチャレンジマーストールで、そんなことは感じられませんでした!! もしろ、より一層、各イベントのクオリティが高まり、最高に充実した毎日だったと思います。子どもたちも能登と金沢を満喫せました(笑) それに子どもたちにとって、チャレンジマーストールは“なくてはならない場所”存在感になっていると思います。これまで続けていたこと、そしてこれからも続けていくこと。これは本当に大変な事だとは思いますが、今も福島のことを見わらず想い続けてくれて、そして子どもたちのために継続して支援をしてくれて、本当にありがとうございます。本当に準備の大変な時は協力できぬのは少しモヤモヤですが、当日だけでも参加できて幸せを感じています! (6)

鈴木 隆え(ゆき)

2年ぶりのございにも、お会いした
みんなにも、お前輩達も来て嬉しいです!

今年は2年ぶりに参加させていただきました、「行って良かった!!」本当に心から言えます。と言うのも昨夏は自分自身の事情もあり参加できませんでした。悔いが残っていますが、また、3月には大学を卒業し、「福島」という関わりが自ずと少なくなっていくとも分かっていました。そんな中、今回させていたしまして、スタッフ皆さんへ再会することができ、良かったです。金沢に着くまでは多少の緊張も残りましたが、久しぶりの会、大子どもたちが面前で覚えてくれていた、皆さんが温かく出向けてくださり、大きめで、輪の中に入していくことができました。

事前準備でかいなれながら、リーダー達もほひの、皆さんのおかげでよければと意図していたのですが、どうだ、アドレット...少しでもお力になれたならば幸いです。

震災後の福島で暮らしたこと、石川での活動に出会ったこと、子どもたちや皆さんに出会いだと、この不思議なつながりを大切にしていきたいです。短い期間でしかありましたが、ありがとうございました。

野間口 拓実
(とう)



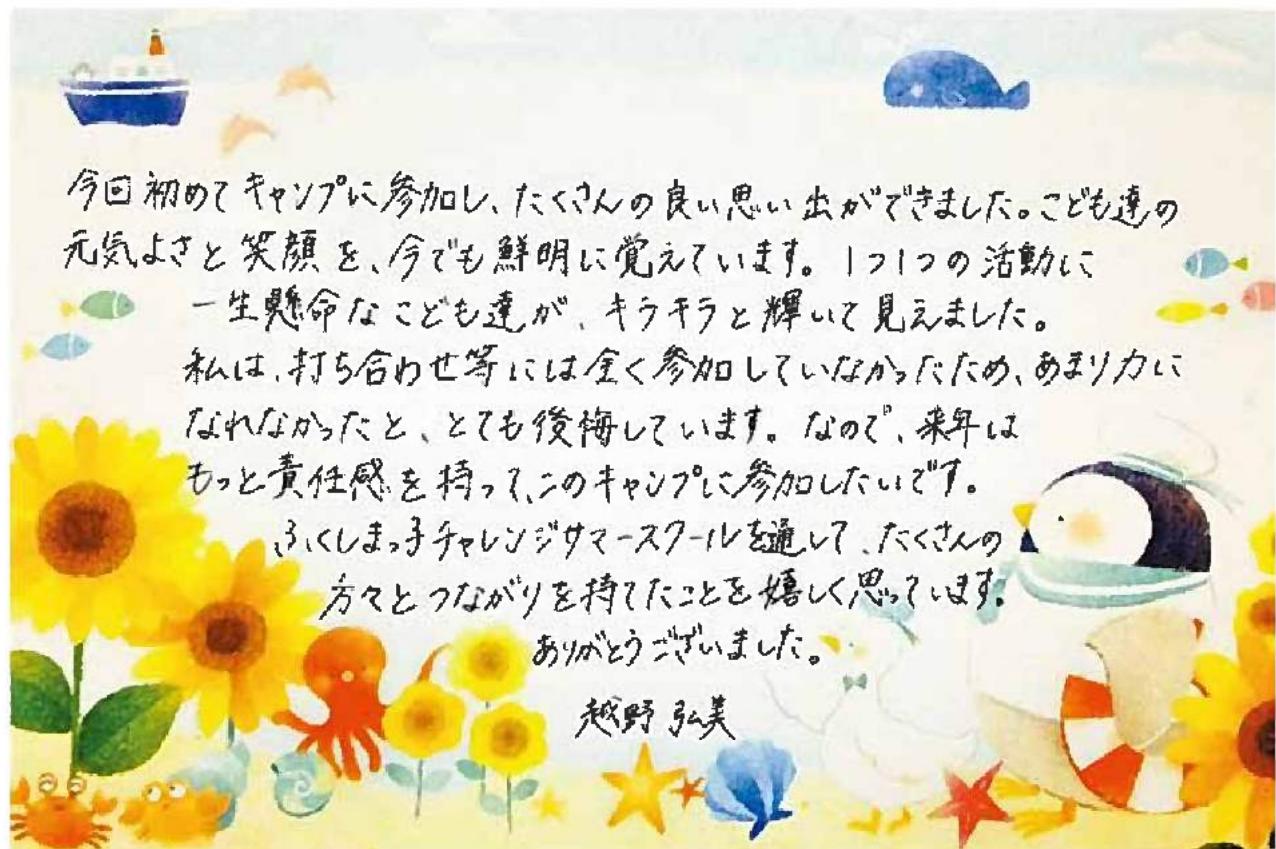
今回初めてキャンプに参加し、たくさん良い思い出ができました。子ども達の元気よさと笑顔を、今でも鮮明に覚えています。一つ一つの活動に

一生懸命な子ども達が、キラキラと輝いて見えました。

私は、打ち合わせ等には全く参加していないかったため、あまり力になれなかったと、とても後悔しています。なので、来年はもっと責任感を持って、このキャンプに参加したいです。

福島っ子チャレンジマーストールを通じて、たくさんの方々とつながりを持てたことを嬉しく思っています。
ありがとうございました。

越野 弘美



・今年で2回目の参加になります。

今回のふくしま子チャレンジキャンプでは、初めて参加した去年と比べ、また違う視点で様々なことを見ることができました。今年で21歳になるのですが、このキャンプで出会った子供達から、自分が思っていた以上のことをこの感じになっても気づかされました。それは子供の頃経験したはずなのに、忘れていました。いたものに気づかされたり、子供達の持っている純粋な心と笑顔がどれだけ日暮れいもののか…

子供達と接する一時一時、その一時からどれたけのことを子供達から学んだが。このキャンプに参加できて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また来年も成長した子供達と会うのがすごく楽しみです。

田口 慧



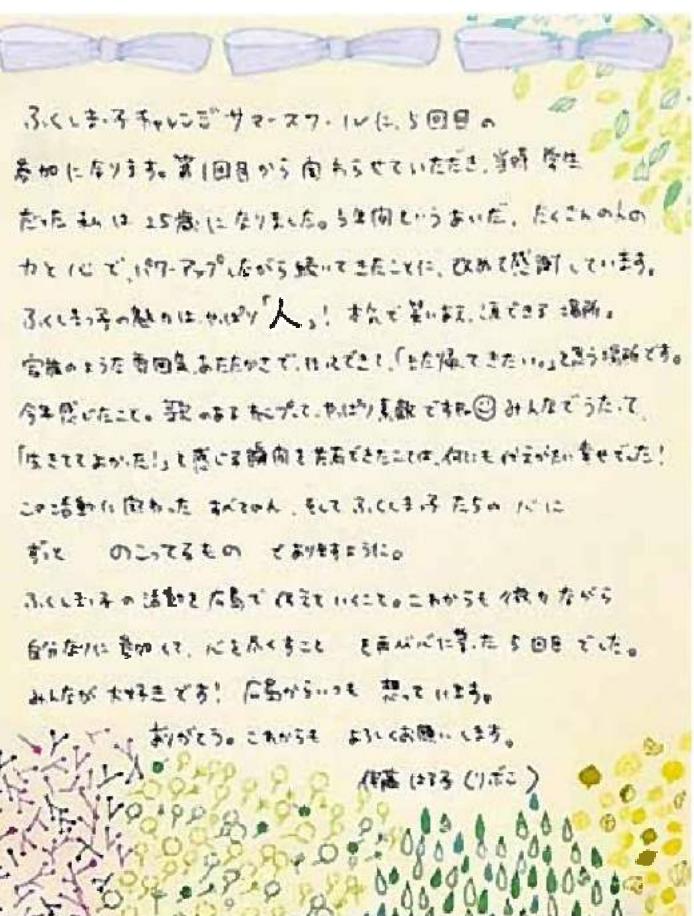
今日初めてふくしま子に参加させてもらひ島のひびです。
6泊7日のキャンプは、長いよかったですと言ひ間に過ぎた充実の
1週間でした。どのプログラムも、よく考え練られたもので子供達
の笑顔がたくさんみられていました。全ては、熱い想いで準備
を重ねてこられた、スタッフのみなさんの力だと思います。

人を育てるのはやっぱり“人”、魅力ある人々で会うり上げ
られているふくしま子は、より魅力ある活動には、全国の中でも
そうあるものではあります。たくさんの子供達に笑顔と感
動を与えるステキなキャンプに参加させていたばいたことに、
本当に感謝しています。ありがとうございました。

そして、また来年も、大好きみなさんと会いに行かせてください。これからもよろしくお願ひします。

(広島) 神野 日奈子

筆者



深代直一



今年のふくしま子牛レシピサマーステップ2016のキーワード
“ニクニク大作戦 金800-”

広島からの二重附もち豚肉 60kgと地元石川の野菜を
どのように組み合わせて食べてもらおうか?を考え、
1. 子どもと子に喜んで食べてもらう
2. 素材を活かす
3. 味付けはできるだけシンプルに。
これを念頭に、キーワードでメニュー決めミーティング。
オーナースタッフが実質的に稼働するのは能登から金沢への移動日
から福島へ帰る日まで。●おにぎりから始めておむすびとおで
子牛モチを送り出します。

金沢では毎食メニューの1品がどちらかを便札料理や登場します。
そこで、もち豚肉メニューを3つ紹介します。

1月は、たぶんふくしまの伝説にほうとうで行列のできる豚丼。
これは超ウマ♥と評判でした。

2月は、ホークステーキの包丁に舞う24H肉食系男子の器にハマリ
頬骨骨袋ゲットへの瞬間♪

3月は、すくても、すくてもアツと脂が減らなくて悪戦苦闘中豚蒸し
体験をしてホンキに煮ると…おなら不思議 魔法の豚蒸し下段身
なんということでしょう!! お見事 ブラボーハラ

今回初めて届いたのは全体的にスタッフのチーフワークの良さ。
そして、ケンタッキーの本格的良さと福島マース・ヒルズーズは運営。
子どもたちに西脇君と片岡君の説教をしながら
手伝ってくれた子たち。皆さんの協力が
やさからで對がわ。ふくしま32016

ニクニク大作戦 金800- 本当にありがとうございました。
道花駿子

参加者アンケート結果

参加 23 家族中 18 家族さま 23 名より回答をいただきました。

◎この事業を知った媒体は
何でしたか？

去年参加したから	14
親子保養に参加して	5
友人知人の紹介	5
ネット	3
その他	3
チラシ	0

◎どの行事が良かったですか？
(複数回答可)

DESTINO で昼食	18
海水浴	17
水鉄砲シャボン玉遊び	16
コンサート	14
カヌー体験	12
キャンプファイヤー	12
フリータイム	11
金沢東山散策	10
英会話教室	10
班活動	8
動物園散策	6
ウォークラリー	6
その他	6

●次回参加するとしたらやりたい、
もしくはやらせたい行事はなんですか？

キャンプ in キャンプ	10
魚釣り	4
水鉄砲シャボン玉遊び	2
金沢散策	2
自炊、洗濯など日常の母親があなたにしている仕事の体験	2
DESTINO で食事	1
海水浴	1
コンサート	1
ウォークラリー	1
サッカー・ドッヂボール	1
野外炊飯	1
川遊び	1
英会話教室	1
カヌー体験	1
羽根式で夢があるからをいっぱい歌う	1

◎来年開催された場合、
参加したいですか？

参加したい	19
参加したいが来年にならないとわからない	2
参加しない	0

◎参加の理由は何ですか？
(複数回答可)

自然に親しませたい	18
放射能からの退避	16
これまで参加して楽しかったから	13
夏の思い出作り	11
団体生活を体験させたい	10
友達を作るため	9
行事に魅力を感じた	9
自立心をつけさせたい	8
甲状腺エコー検査を受けさせたい	5
食べ物の好き嫌いをなくさせたい	4
遠いところに(石川県)にいかせたい	3
その他	1

◎プログラム全般についてどうでしたか？

とても良い	21
良い	0
普通	0
悪い	0

◎食事についてどうでしたか？
(子どもの意見)

とってもおいしかった	18
おいしかった	3
普通だった	0
おいしくなかった	0

◎リーダーの指導は良かったでしょうか？
(子どもの意見)

とても良かった	18
良かった	1
普通だった	1
悪かった	0

◎今年で5年目を迎ましたが、今後この
ようなキャンプは必要と思われますか？

必要と思う	14
継続してほしい	12
必要とは思わない	0
継続する必要はない	0

◎エコー検査・血液検査は来年も
受診したいですか？

ぜひ受診したい	13
あれば受診したい	7
受診したくない	0

【なにか要望はありますか？】

有料でも血液検査
歯科医の先生にも診察して頂いて良かった。
毎年先生には丁寧に診察をしていただき有難う御座います。
エコーの画像とコメントがあり、安心して過ごす事が出来ます。
吉田先生、クリニックの皆様お世話になりました。
血液検査又は、心電図なども希望により受診出来ると良い。

11名の子ども達が好き嫌いがなくなった！
と書いてくれています。
(パプリカ、玉ねぎ、バナナ、人参、味噌汁、トマト、ピーマン、豆、ナス、オクラ)

おいしい無農薬のお米や野菜たちとキッズスタッフのおかげでしょうか!!!

【どんなところが良かった？】

いっぱい遊んでくれた。
いつも優しかった
悪い時にはちゃんと怒ってくれた。
何をやるのか教えてくれた。
みんなに優しく指導したり面白い所があった。
行動するときの優しい声掛け。
班を和ませてくれた。
日焼けの心配までしてくれた。
色々な事を話したり、聞いたり出来た。
あまり悪い事をした子がいても怒らない事。
助けてくれた事。
時間に合わせてみんなを動かした所。
みんなを全力で楽しませようとする所。
何でもわかりやすく説明してくれた。
きちんと行動する事を教えてくれた。
詳しく説明してくれた。
明るく、楽しめてくれる。
話やすかった。

スタッフおよび協力者

(敬称略)

社会人スタッフ 18名

岩井繁樹、クノキ家（ジョン、メグ、シーファス、ファーラ）、澤本悟博
下村英司、道花正博、伊瀬朋之、徳井聰司、清水十輝、深代真一、鈴木隆之
田村朋久、野間口拓実、加藤有理沙、伊藤はる子、神野日奈子



参加保護者 7名

橋本啓輔、赤沼 栄、赤沼美智代、鈴木真由美、喜古美千代、鈴木悦子、渡部裕美子

学生スタッフ 17名

斎藤祐輝、田口 慧、クノキ家（ジョセフ、サイモン、ビンセント、ジョイ）
澤本剛希、澤本享宏、赤沼開斗、細川詩萌里、森井しづか、新井桃子
石黒茉莉子、泉 侑里、米田千奈都、道花真衣、越野弘美



お手伝いいただいた方々 12名

- ◎看護師：長田 薫、田村幸子、佃 恵美子
- ◎救急指導員：永井敏昌、吉本 哲
- ◎イベント協力：道花祥太郎、向田誠市、谷猪遼介、瀬戸政浩、真家大樹、日野 史
石川県漁業協同組合能都支所、御神事国重太鼓保存会
- ◎エコー検査 よしだ小児科クリニック：吉田 均 院長、井家祥子
- ◎歯科指導 平田歯科医院：平田米里



炊事でお手伝いいただいた方々 17名

道花敬子、石黒由加里、梅沢 清、八田育子、中川久美子、瀬戸カオル
猪飼紀子、範子クノキ、高森玲子、村井陽子、高田麻里子、北村純子
吉谷道江、氷見純子、横越和子、澤本多日子、中村ちか



その他募集活動その他にご協力いただいた方々

北陸中日新聞社、北國新聞社、広告工房アピール、常讚寺、NPO法人poco連人

カウントダウンボードに協力頂いた企業様



よしだ小児科クリニック



株ユティック



村田屋旅館

協賛金・食材現物提供ご協力者

(敬称略)

企業・団体様

- ◎西日本旅客鉄道労働組合 JR 西労組西バス地本金沢分会
- ◎西日本旅客鉄道労働組合 JR 西労組西バス地本金沢支部
- ◎西日本旅客鉄道労働組合西日本 JR バス地方本部
- ◎株高木糸商店 ◎中国建材工業株 ◎株マツバラ 松原靖之
- ◎カオル正體 ◎瀬戸機工サービス ◎(有)オーエムサービス
- ◎株やね屋 ◎けんろく保険サービス株 ◎楽農心友会
- ◎よした小児科クリニック 吉田 均 ◎村田屋旅館 ◎有相馬商会 ◎和びさび
- ◎SAWA会 ◎むとう小児科医院 武藤一彦 ◎株絹川商事 ◎株ケイアイデザイン ◎株澤本商事
- ◎あうん堂 本多博行・恵子 ◎十輝チャリティーコンサート・鬼太鼓座
- ◎MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ
- ◎株中田エンジン 募金箱 ◎株澤本商事 募金箱

募金箱・その他 カウントダウンボードに協力頂いた企業様



(有)オーエムサービス



株ヘリオス



SAWA会



株サナ



昭栄産業株



株桶村設計



株石井工業



株ケイアイデザイン



名東化工機株 長久手センター



株絹川商事



むとう小児科医院



株ヤマモト工務店

こころ暖まるご寄付、ご協力 ほんとうにありがとうございました。

(敬称略)

個人様

- | | | | | | | |
|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|
| ◎喜古美智代 | ◎越村ちか | ◎島野健太郎 | ◎宮下雅子 | ◎中川久美子 | ◎川上万里子 | ◎河岸 博 |
| ◎今井美智 | ◎釜田典子 | ◎松下はる枝 | ◎北野ゆみ子 | ◎中内晃子 | ◎上村好子 | ◎山本華喜子 |
| ◎細川信喜 | ◎大部恵美子 | ◎鈴木隆之 | ◎下村英司 | ◎猪飼純市 | ◎菱沼曙美 | ◎本 敏子 |
| ◎尾柏由利江 | ◎村田 進 | ◎武野達雄 | ◎北 和久 | ◎西野和也 | ◎富田敦子 | ◎小花康幸 |
| ◎徳井聰司 | ◎永井敏昌 | ◎山田憲昭 | ◎道花正博 | ◎山村正信 | ◎帆苅宏典 | ◎平野敏子 |
| ◎森 和浩 | ◎片野千恵子 | ◎金田まり江 | ◎木谷あけみ | ◎山本 悟 | ◎平岡純一郎 | ◎陣内智子 |
| ◎西尾修一 | ◎中田他慶子 | ◎今村 龍 | ◎八田育子 | ◎伊瀬朋之 | ◎高柳栄利子 | ◎吉本 哲 |
| ◎村上博司 | ◎村井陽子 | ◎本橋誠一 | ◎棚田啓子 | ◎高森玲子 | ◎吉谷道江 | ◎冰見純子 |
| ◎石黒由加里 | ◎梅澤 清 | ◎奥村久美子 | ◎岩井繁樹 | ◎濱頭正吉 | ◎澤本三十四 | ◎澤本悟博 |
| ◎澤本多日子 | ◎濱野明子 | ◎飯島泰輔・裕花 | | | | |

食材提供・現物ご寄附様

- | | | | |
|----------------------|--------------|------------|--------------------------|
| ◎エコファーム奥野 | ◎焼き鳥 ちょう吉 | ◎あさひ屋ベーカリー | ◎トモファームあゆみ野菜 |
| ◎赤井由美子 | ◎浅井 郁 | ◎関 敦子 | ◎食事・喫茶ニワトコ 中西有希子 |
| ◎あうん堂 本多博行・恵子 | ◎種市靖之 | ◎吉本 哲 | ◎岩本清商店・岩本歩弓 |
| ◎あうん堂 本多博行・恵子 | ◎種市靖之 | ◎吉本 哲 | ◎山下白徳 |
| ◎チャペック 松永茂・まさみ | ◎豆月 北出建展・美由紀 | ◎新垣るみ | ◎川本菜穂子 |
| ◎株ドウ・コミュニケーションズ 栗田 均 | ◎豆月 北出建展・美由紀 | ◎蒲池絵美 | ◎橋本 彩 |
| ◎奥村弘一・久子・久美子 | ◎ディスティーノ金沢 | ◎丸友青果株 | ◎日清食品株金沢営業所 |
| ◎農事組合法人三共グリーン | ◎肉のいまえだ | ◎平野敏子 | ◎body & heart-Lobo Awake |



エコファーム奥野



あさひ屋ベーカリー



トモファームあゆみ野菜



ディスティーノ金沢



奥村家ご家族



焼き鳥 ちょう吉



株高木糀商店

食材提供して頂きカウントダウンボードに協力頂いた企業様

1年間の活動・準備のふりかえり (2015.8.21~2016.8.8)

平成27年(2015年)

8月21日(土)	反省会と今後の活動打合せ	[6名参加]
29日(土)	ご苦労さん会	[22名参加]
9月 4日(金)	報告書編集会議	[7名参加]
16日(水)	報告書編集会議	[6名参加]
26日(土)	ご苦労さん会	[30名参加]
10月 1日(日)	報告書編集会議	[5名参加]
13日(日)	報告書編集会議	[6名参加]
19日(月)	報告書編集会議	[4名参加]
31日(土)	都山報告会 お泊り交流会 猪苗代ぼかぼかハウス 福島県から (poco連人さん 6名 ヤングリーダー 2名) 石川県から (大人スタッフ 6名 ヤングリーダー 10名 こども 2名) 5家族 (子供 10名 保護者 6名)	[42名参加]
11月 1日(日)	都山報告会 日帰り会 郡山市男女参画センター 8家族 (子供 16名 保護者 8名)	[49名参加]
	北陸銀行東大通支店にて写真展開催 (11月1日~30日)	
19日(土)	東京報告会 東京都浅草橋 SAWA会メンバー	[20名参加]
29日(日)	スタッフ勉強会 石川県保険医協会主催 「おしどりマコケン福島取材報告」講演会 [8名参加]	
12月 12日(土)	ハートフルクリスマスパーティー	[28名参加]

平成28年(2016年)

1月 10日(日)	広島報告会 広島市お好み焼き「赤トンボ」 石川県から大人スタッフ 7名 広島スタッフ 3名 わんぱくチャレンジ広島実行委員会発足	[30名参加]
27日(水)	スタッフミーティング 今年の活動計画	[6名参加]
2月 28日(土)・29日(日)	うけいれ全国主催『保養のこれからを考える』東京 [1名参加]	
3月 12日(日)	311ありがとう石川 しいのき迎賓館 感謝状授与 十輝ライブ 報告会 卒業おめでとうパーティー	[26名参加]
20日(土)	スタッフミーティング	[6名参加]
4月 9日(金)	スタッフミーティング	[8名参加]
19日(火)	27年度実行委員会会計監査 税理士:村上氏	
27日(水)	合宿研修+親子保養打合せ	[8名参加]
5月 2日(月)~5日(木) 3泊4日	ワンネススクール鳥越校舎 ヤングリーダー&大人スタッフ合宿研修+実行委員会総会+親子保養 講師 吉田均 よしだ小児科クリニック院長他 (ヤング 17名、大人 12名、福島親子 5家族 17名)	[46名参加]
	ゲーム指導講習 今年のプログラム検討会&担当分け BBQ	
21日(土)	スタッフミーティング	[18名参加]
23日(月)	スタッフミーティング	[3名参加]
6月 1日(月)	申込受付スタート 募集チラシ、寄付依頼文発送	
4日(土)	スタッフ勉強会 講師 種市靖行先生 常願寺	[14名参加]
5日(日)	ウォーカラリー下見 キゴ山ふる里交流館周辺	[8名参加]
10日(金)	スタッフミーティング 十輝チャリティーライブ打合せ	[6名参加]
11日(土)	十輝-鬼太鼓座チャリティーライブ [110名参加] 120枚チケット販売	
25日(土)	森のASOBI塾 学生リーダー参加 [7名参加] 石川県立青年の家	
26日(日)	街頭募金 29,246円 香林坊大和前	[16名参加]
27日(月)	救護班打ち合わせ 看護師・日赤救急法指導員	[5名参加]
7月 3日(日)	能登少年自然の家事前打ち合わせ+海水浴場・地引網下見 [12名参加]	
8日(金)	安全管理講習会打ち合わせ	[4名参加]
9日(土)	スタッフ懇親会	[20名参加]
11日(月)	スタッフミーティング	[3名参加]
18日(日)	安全管理講習会+スタッフ最終ミーティング 講師 村上博司氏 金沢青少年研修センター [30名参加]	
	スタッフ参加日程確認 スケジュール確認 キッチンスタッフ打合せ	
23日(土)	猪苗代 ぼかぼかハウス	
24日(日)	参加者対象事前説明会 郡山市芳賀地域公民館 [14家族30名参加] [石川より 6名参加]	
26日(火)	キッチンスタッフミーティング	[3名参加]
8月 5日(金)	キッチンスタッフミーティング&食材整理	[7名参加]



都山報告会



広島報告会



スタッフ合宿研修 + 親子保養



スタッフ合宿研修 + 親子保養



十輝チャリティーライブ



街頭募金

ふくしまっ子能登の夏満喫



「最高の思い出になる」

被災地支援有志に招かれ
北陸中日新聞 8/12



北國新聞 8/16

【ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会】 自平成28年4月1日 至平成29年9月30日
収支決算報告書

(収入の部)

勘定科目	金額	内訳
前年度繰越金	3,129,204	
参加者会費	525,000	子ども32名保護者6名
募金	29,246	街頭募金
補助金	300,000	キッズリフレッシュ21基金
協賛金	1,563,587	企美・団体 31件・個人様 65件 (¥1,217,565) 募金箱賛助2件 (¥43,522) チャリティコンサート収入(石川県護寺) (¥302,500)
研修会費収入	28,000	GW研修会 大人参加費 14名分
総収入	227	
合計	5,575,264	

(単位:円)

(支出の部)

勘定科目	金額	内訳
バス乗耗料	794,900	金沢一郡山一能登 能登一能美市一金沢 金沢市内散策
施設借り上げ料	380,840	珠洲市(能登少年自然の家) 金沢市(キヨムレアいの里)
食料費	243,066	GW合宿研修自炊食材費 能登自炊食料・飲料費 金沢(ディスティーノ)昼食分 金沢自炊食材・飲料・調味料調達費
活動費	210,415	ボランティア養成講座受講費 講師謝礼 活動材料費 キャンプ生活用品費 稲子代等
旅費・交通費	135,840	5月GWスタッフ研修会旅費補助分 事前説明会 料理料・ガソリン料
通信費	74,916	チラシ郵送費・申込書・報告書郵送費
印刷費	231,300	チラシ・報告書・コピー代
保険料	50,494	参加者 国内旅行傷害保険 スタッフボランティア保険
雜費	6,268	振込手数料
総額	3,447,345	
合計	5,575,264	

ご支援 お願いします。

■ゆうちょ銀行よりお振込いただく場合

振込口座 ゆうちょ銀行

【記号】13100

【番号】2147251

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
(フクシマッコチャレンジスクールシッコウインカイ)

■他金融機関よりお振込いただく場合

振込口座 ゆうちょ銀行

【支店名】318 (サンノリハ(子ども古川下さる))

普通貯金 【口座番号】0214725

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
(フクシマッコチャレンジスクールシッコウインカイ)

編 集 後 記

2011.3.11東日本大震災から丸5年が経ち、ふくしまっ子チャレンジサマースクールも今夏で5回目を迎えるました。

東日本大震災と福島第一原発事故の惨事を目にして「何かできないか?」のおもいが集まって始まったサマースクールですが、ふくしまっ子達に関わる事で、福島やその周辺の地域で起こっている事に关心を持ち続けること、そしてその輪を広げていく事をスタッフ間で常に確認し合ってきました。

1~2年目はサマースクールを開催するだけで手いっぱいでしたが、少しずつご協力いただく方が増え、年を経ることに勉強会・街頭募金・福島報告会・GW研修合宿・チャリティコンサート・GW親子保養と1年を通しての内容に活動の幅が広がってきました。

今年1月には1回目からの参加スタッフの呼びかけで広島報告会の開催があり、それがきっかけで7月には広島での保養キャンプが新たに立ち上がっています。

4回目の開催までは、直前まで子ども達と直接触れ合うヤングリーダーの不足に不安がつきまといましたが、5回目の今年は去年から引き続いでのヤングリーダー達が準備段階からの積極的な企画運営への関わりで充実度が一層高みました。これまで学生で参加していたリーダー達は仕事のお盆休みを精一杯使つて石川メンバーはもちろん名古屋・福島・茨城・新潟・広島から駆けつけ、それぞれの力を存分に発揮して子ども達を楽しめていました。この輪が少しでも広がるには?と継続に向けて一緒に知恵を出し合う頼もしいスタッフとしての姿に胸があつくなります。

保護者の方々から届くメールやアンケートからは切なくて暖かいおもいが今年もあふれています。「ここに住み続ける親子が唯一よかったなあと思える事がこの事業との出会いです」「将来は石川に住むと決めているようです」「親子で今の福島を忘れた7日間でした」子ども達の楽しい!や、はじける笑顔は親にとって何よりの宝物ですね。

子ども達・ヤングリーダー・大人スタッフ・保護者の方々・ご支援いただいた皆様に、少しずつのおもいが集まった報告書を手に取っていただけ事で、喜くてキラキラした涙のひとときを、ふくしまっ子達を取り巻く環境のことを、周囲の方々と共に語り合うきっかけになれば幸いです。

一緒に時間を過ごすことで確かに伝わってくるつながりやエネルギーは決して目には見えませんが、目に見えない放射能の影響を排除する力・次世代を担う力になることを願ってやみません。

今年も多くの方々のご協力・ご支援・応援、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。また来年もお会いできることを楽しみにしています。

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 事務局 澤本 多日子



キッズリフレッシュ21基金の補助金助成にて実施されました。

2016

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会